

IV

留学・
国際交流

推進分野の背景と方向性

海に囲まれた国、日本であるからこそ、実際に異国の地に赴き、その土地の文化に触れる機会を得ることの意義は極めて大きい。昨今では、日本の急激な人口の減少やグローバル競争の激化等の背景から高等教育機関には留学をはじめとした国際交流を通じてグローバル化を推進する体制の整備が求められている。本学は、「世界をキャンパスに、キャンパスを世界に」のスローガンのもと、海外への一歩を踏み出す学生をあらゆる方面から全力でサポートし、キャンパス内においても多様な文化や価値観に触れる機会を積極的に提供することによって、「UMEMURA VISION 2023」の実現を目指す。ひいては、本学の揺るぎない理念のもと、広い視野を有し、言語の壁を越え、異文化に適応し、グローバル社会でその力を存分に発揮できる人材の育成に寄与する。



推進事項 1

学生の海外派遣拡大と
留学効果の最大化に向けた
取り組みの推進

学生個々が求める留学の実現と学生の多面的成長に資する留学プログラムの拡充を図り、学生第一の理念を追求する。また、留学終了後の成長をより促すための包括的な支援プログラムの展開に取り組む。さらには、入学から卒業までの大きく4つ（志望・計画、事前研修、留学、事後研修等）のプロセスをプログラム化し、「UMEMURA VISION 2023」に欠くことのできない課題探究・解決力を涵養する。

主な施策

- 1 学部の専門性をベースとした留学プログラムの整備・強化
- 2 留学を中核とした成長プロセスの可視化と留学経験の言語化
- 3 外国語運用能力向上と異文化理解促進をベースとした留学プログラムのさらなる整備・拡充

推進事項 2

協定留学生の受け入れ促進と
海外協定校等との
さらなる連携の強化

日本語及び英語プログラムの充実化と学習・生活支援体制を拡充し、協定留学生の受け入れを促進する。協定留学生と本学学生の交流機会を積極的に確保することによって、キャンパス内での国際交流の促進を図るとともに、異文化理解力と英語コミュニケーション能力を涵養する。また、海外協定校とのより強固な関係を築くことを目的として、従来の学生交換から文化・スポーツを中心とした大学間学生交流まで深化させる。

主な施策

- 1 協定留学生の日本語習熟度や興味・関心に即した授業カリキュラムの整備
- 2 国際交流学生ボランティアの運営体制の整備と組織の自走化に向けた取組
- 3 海外協定校との重層的な学生交流の推進と教育連携パートナーシップの形成

推進事項 3

国際化推進のための
環境整備と多様性溢れる
キャンパスの実現

国際化を強力に推進する組織を新設するとともに国際交流施設と機能を拡充し、推進体制の基盤を確固たるものとする。また、正課と正課外学習の有機的連携のもと、留学に必要な英語力を一定期間内に高めるための総合的な支援体制を整備する。同時に、優れた学生に対する留学に係る経済的負担軽減措置を強化すべく、留学（派遣・受入）奨学金制度のさらなる拡充とその原資となる寄付金制度を導入し、国際交流の活性化を図る。

主な施策

- 1 国際化を強力に推進する体制整備
- 2 「キャンパスのシンボル」に成り得る国際交流施設の設置と機能・体制の整備
- 3 英語資格・検定試験対策を軸とした英語教育・学習環境の再構築と充実化
- 4 留学費用の負担軽減を目的とした奨学金の拡充